

公共事業再評価調書（県土整備部）

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 戸口田 克維 (加納 新次)	内線	4 4 4 0 (4 4 5 2)
-----	-----	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	海岸事業	事業名	事業区間	総事業費	約27億円
		高潮対策事業 姫路港海岸浜田地区	姫路市網干区浜田		

所在地	事業採択年度	現地着工年度	完成予定年度	進捗率
姫路市網干区浜田	H 3	H 4	H 18	54%

事業目的	事業内容
高潮浸水被害の防止・軽減 ・当地区の護岸は昭和40年代に築造された鋼矢板式護岸で老朽化により矢板が腐食、損傷し、天端高も不足した状態である。このため護岸の改良および胸壁の新設により保全機能を確保する。	L = 約2,300m 護岸(改良)L=1,380m 胸壁 L= 950m

進捗状況 (社会情勢等の変化)	<ul style="list-style-type: none"> 全体区間のうち平成12年度で護岸改良の北側区間770mが概成し、13年度以降胸壁および護岸改良の南側区間に着手する予定である。 海上工事のため、木材港利用者と利用調整を行いながら事業を進めていたことにより事業期間が長期化しているが、残区間については大半が陸上施工が可能であることから事業進捗を図ることができるため、平成18年度には完成する予定である。
--------------------	--

評価視点	
(1)必要性 現状	<ul style="list-style-type: none"> 当地区は姫路港内の西端、西部工業港区内にあり、一級河川揖保川及び中川の河口付近に位置している。主に木材港として利用されており、背後には住宅や工場等が立地している。
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 当地区の護岸は老朽化が進んでおり、天端高も不足している。 (現況天端高 DL+3.20m、必要天端高 DL+4.05m)
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 高潮浸水被害から県民の生命や財産等を守り、安心して生活できる環境を確保する。

(2)有効性・効率性	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 $B / C = 2 . 5$
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 代替案として水門等により既設防波堤の間を閉め切る案があるが、既設防波堤の嵩上げ、及び水門等の設置に多大な事業費を必要とすること、および将来にわたり維持管理や高潮時の水門操作が必要となることから不利となる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施にあたっては、工事区間および時期等について木材港利用者と以前から調整を行ってきており、円滑な事業執行環境が整っている。

(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 鋼矢板を打設する際には、騒音、振動が小さくなるような工法を採用している。
----------	--

(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 残区間においても護岸の天端高が不足しており、防護ラインを完成させて背後地を高潮浸水被害から守るために、高潮対策事業を継続して実施する必要がある。
--------	--

県土整備部の考え方

評価の結果	継続	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。
-------	----	------	-------------------